

八軒中央地区まちづくりビジョン【概要版】

未来へとつづくにぎわいがあるまちづくり

～にぎわいから始まる地域のコミュニティ～

1. まちづくりビジョン策定の背景、目的、策定経緯

八軒中央地区では、にぎわいから始まる地域のコミュニティづくりを第一に考え、まちづくりを進めてきました。

この度、今後もまちづくり活動を継続・発展させていくため、5年後 10 年後を見据えたまちづくり活動の指針となる「八軒中央地区まちづくりビジョン」を策定しました。

このビジョンを土台として、さらなる活動の発展とにぎわいあふれる八軒中央地区のまちづくりを進めていきます。

第1回ワークショップ（令和2年11月28日）
【地域の魅力や地域資源の共有、「にぎわいづくり」のアイデア】
八軒中央地区の魅力や地域資源、「にぎわいづくり」に向けて地域の魅力や地域資源を活かすためのアイデアについて意見交換しました。

第2回ワークショップ（令和3年1月23日）
【にぎわいづくりに向けた取組のアイデア】
第1回ワークショップの内容を踏まえ、具体的な視点も取り入れながら「にぎわいづくり」に必要な取組のアイデアについて意見交換しました。

八軒中央連合町内会臨時総会（令和3年3月28日）
【八軒中央地区まちづくりビジョン案の報告・提案】

八軒中央地区まちづくりビジョンの策定

2. 八軒中央地区の魅力や地域資源

八軒中央地区の「にぎわいづくり」に向けて、地域の魅力や地域資源をみんなで共有しながらはっけんし、それらを活かしたまちづくりを進めていきます。

生活・交通利便性に優れ、地域の憩いの場がある環境

地域のまちづくりに関わるたくさんの団体等

年間を通し多くの人でにぎわいあふれる行事を開催

地域が誇る伝統文化「八軒音頭」

八軒中央地区マスコットキャラクター「はっけんくん」



八軒中央納涼まつり



八軒音頭 & 八軒音頭ジュニア



3. 八軒中央地区の将来像・目標

八軒中央連合町内会の創立 30 周年記念で掲げられた「未来へとつづくまちづくり」というテーマを継承し、にぎわいを通じた「地域のコミュニティづくり」を実践していくための将来像を設定しました。

また、将来像の実現に向かって、ワークショップの意見を踏まえて目標を設定し、取組の方向性をまとめました。

将来像『未来へとつづくにぎわいがあるまちづくり』

～にぎわいから始まる地域のコミュニティ～

目標1 地域資源や歴史を活かしたコミュニティづくり

八軒中央地区の地域資源や歴史を活かし、地域住民などが繋がれる仕組みづくりや取組を進めていきます。

目標2 親睦・交流・情報発信を通じたコミュニティづくり

八軒中央地区で実施する行事に、積極的に参加・協力してもらう仕組みづくりや取組を進めていきます。

目標3 次世代の担い手に繋ぐコミュニティづくり

八軒中央地区のまちづくり活動を、次世代に繋いでいくための仕組みづくりや取組を進めていきます。

4. ビジョンの推進に向けて

ビジョンの推進に向けて、八軒中央連合町内会が主体となって、各目標を踏まえた事業の検討や、ビジョンの推進に向けた組織体制の構築を進めていきます。

その中で、今後の担い手となる子どもや若い世代、高齢者世代など多世代での交流を継続して行い、地域への愛着を育み、5年後 10 年後の未来へとつづくまちづくりを進めていきます。



5. 「にぎわいづくり」はっけんのアイデア集

ワークショップでは、地域の魅力や資源を活かした「にぎわいづくり」に向けて、大変多くのご意見やアイデアを出していただきましたので、主な内容をご紹介します。



インターネットを通じた情報発信

●どんなことをやるの？

⇒より多くの世代が、地域の情報を得られる手段として、ホームページの作成やSNSの活用などを行いたい。

●どうやってやるの？

⇒地域の学生や保護者、若い世代、IT系事業者に協力してもらい、ホームページ等の運営、情報発信を行いたい。

●どうしたら人が集まるかな？

⇒町内会の取組、生活の情報、小中学生の活動報告、八軒音頭やバーチャル散歩の動画配信など、地域に密着した情報発信を行う。



目標1 地域資源や歴史を活かした
コミュニティづくり

目標2 親睦・交流・情報発信を
通じたコミュニティづくり

子ども向けの非日常体験イベント

●どんなことをやるの？

⇒子ども向けの体験イベント（昔あそび、紙芝居、餅つきなど）を開催し、子育て世代など若い人が、町内会の活動に関わるためのきっかけや、集まる場所を作りたい。

●どうやってやるの？

⇒企画や運営にあたり、地域の学生や老人クラブに協力してもらおう。

●どうしたら人が集まるかな？

⇒地域の会館、公園、駐車場など、会場ごとに体験を楽しむ仕組みがあると良い。



目標2 親睦・交流・情報発信を通じたコミュニティづくり

子どもが主体となって運営するバザー

●どんなことやるの？

⇒地域の学生が主体となり、大人のサポートのもとで、バザーの企画から運営まで行う。

●どうやってやるの？

⇒イベントの告知は、地域の学校に協力してもらい、掲示やアナウンスなどしてもらおうと良い。

●どうしたら人が集まるかな？

⇒バザーのほか、より盛り上がるイベントにするために、飲食ブースや、吹奏楽やダンスの披露、餅巻きなどの小イベントもあると良い。



目標2 親睦・交流・情報発信を通じたコミュニティづくり

目標3 次世代の担い手に繋ぐコミュニティづくり

取組を繋げる、継続するための仕掛けづくり

●どんなことやるの？

⇒「にぎわいづくり」に関する様々な取組などを繋げることで、地域活動との接点を増やす機会を作りたい。

●どうやってやるの？

⇒様々な団体等と連携できる場や仕掛けづくりを行う。

●どうしたら人が集まるかな？

⇒例えば、写真コンテストがあり、既存の地域資源やイベントと連動させ、通年で実施するなどいろいろな人が参加できるようにする。



目標3 次世代の担い手に繋ぐコミュニティづくり

皆さんからの意見を踏まえて、ビジョンの目標の実現に向けた取組を検討していきます！
ビジョン策定にあたり、ワークショップにご参加いただいた地域の皆さん本当にありがとうございました！



発行:八軒中央連合町内会 令和3年3月